

臨床情報の研究利用に関するお知らせ

【題名】

当院における黄色ブドウ球菌菌血症の死亡リスク因子の検討

【研究機関】

河北総合病院

【背景・目的】

黄色ブドウ球菌菌血症は、全世界で年間約 30 万人の死者を出す極めて予後不良な疾患であり、その致死率は 15・30%に達します。本研究の目的は当院で経験した黄色ブドウ球菌菌血症の当院における診療の実態と予後を明らかにすることです。この解析により高リスクの患者さんの早期特定と診療の質向上を目指します。

【方法】

2022 年 3 月から 2025 年 1 月までに当院で入院中に血液培養より黄色ブドウ球菌が検出され、感染症の治療を受けられた成人患者 59 例を対象とします。

【患者さんへの不利益】

カルテ上の調査のため対象者に不利益が生じることはありません。
また、この研究を拒否される場合も不利益が生じることはありません。

【本研究の情報公開について】

研究内容は日本化学療法学会へ報告いたします。

【個人情報等の取り扱い】

診療情報で得られた情報は Excel ファイルに集計し、パスワードロックをかけます。個人情報（患者様の名前や住所などプライバシーに関する情報）は記載せず症例番号のみで匿名化し、ファイルは安全感染管理部で保管されます。また、データの廃棄につきましては、少なくとも研究終了報告日から 5 年、または最終の研究結果報告日から 3 年の、いずれか遅い方まで保管し、それ以降に廃棄します。

ご不明な点や研究を拒否される場合等ありましたら、河北総合病院 03-3339-2121 までかけていただき、安全感染管理部秋本までお問合せください。